



「楽しいロータリーライフで

地域に奉仕を」

会 長 有 光 正 男
幹 事 中 川 務

国際ロータリー創立88周年、立川こぶしRCが8年目を迎える事になりました。歴代会長が築き上げて来た“超私の奉仕”の基で充分なる、ロータリーライフを過ごして来ました。今我々は一步踏み止どまって、自分の足元を見直す時だと思えるのです。我が国の政治経済が政治家、役人の舵取りの失敗で、惨憺たる結果が生じたわけですが、こんな時我々もロータリーの奉仕の中味を充分吟味する必要が有ると思います。時に今年度紫野ガバナーは“クラブと地域を見直し、視野をよりグローバルに”と語っています。

“温故知新”今迄の継続的に又、マンネリ化して来た奉仕活動を見直し、良き活動は二重三重に成果を上げる様努力をし、又見直すべき所は英断をもって行う。そしてロータリー活動に新風を注ぎ、楽しいロータリーライフを過ごしたいと思います。特に今年度はロータリアン同志がその目的に活動出来る様に一人が2つの委員会に所属して戴きました。その結果がロータリーが活性化され、又風通しの良いクラブにもなり、奉仕の年が、多方面に向けられると信じます。特に紫野ガバナーが提唱している様に、地域社会に我々が何の奉仕が出来るかということです。

自分の地域に充分な奉仕活動も出来ないものが、何故に国際奉仕など出来るでしょうか。自分達の心と心が通じあい、それにより地域に奉仕を、又世界に奉仕をと云う事になると思います。

又今の当クラブは職業分類が片寄っている様な気がします。特に未充填の所を埋めて行く様にしたいと思います。ロータリーはその職業分類の代表者が集まり、同一の基で奉仕活動をするもの、それにはその業種基盤の中には、すばらしい方々が多数おられると思います。その様な方を友人とし仲間として、仲間に入れようでは有りませんか。そして大なる目的を成しとげようでは有りませんか。ロータリーの友は一生の友と云います。そんな仲間を造りたいと思います。